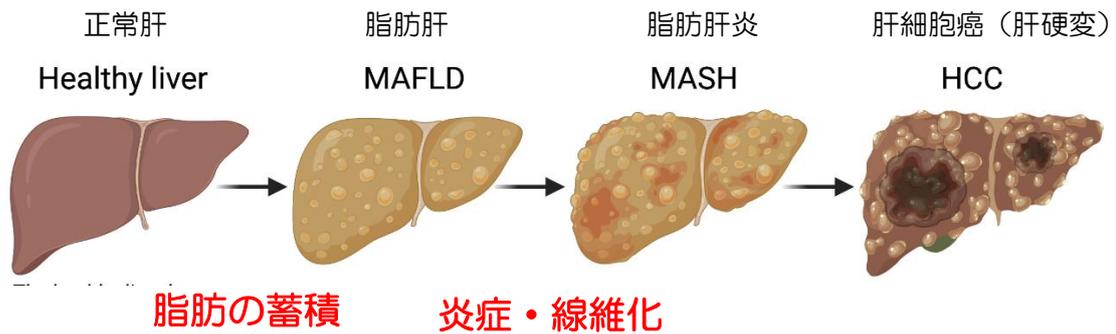


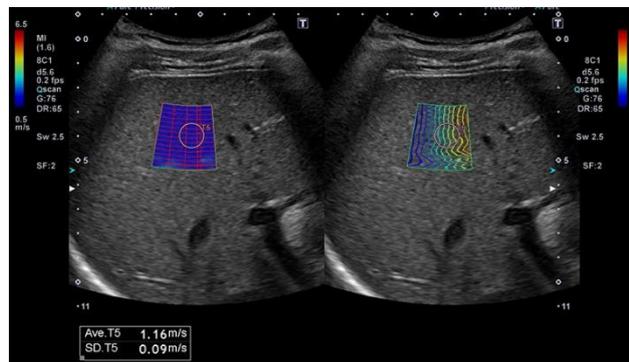
ラボニュース

<代謝異常関連脂肪肝（MAFLD）、代謝異常関連脂肪肝炎（MASH）について>

MAFLD とは、肝臓に脂肪が過剰に蓄積した状態である脂肪肝に、肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの代謝異常が合併した状態を指します。以前は「NAFLD（非アルコール性脂肪性肝疾患）」と呼ばれていましたが、2020 年に MAFLD という新しい病名概念が提唱されました。MAFLD は、肝硬変や肝臓がんのリスク要因となる可能性があり、適切な管理が必要であり、早期発見が重要となります。



近年、MASH の予後は肝線維化進展の程度に関与することが分かってきており、肝線維化評価が重要となります。しかし肝線維化評価には肝生検が必須で、侵襲的な検査であることから簡便に多くの方を検査することは困難です。一方、近年超音波で肝臓の硬さを評価する弾性イメージング機能が開発され、非侵襲的肝線維化診断方法として臨床応用されてきており、肝生検との良好な相関性が報告されています。当院の超音波装置では、肝臓の硬さと肝線維化の評価（硬さをみるエラストグラフィ検査（SWE: Shear wave Elastography））を行うことができ、MASH が疑われる場合などはこの SWE を用いることで、肝臓の硬さを評価し、診断に役立てています。



<新たに認定資格を取得しました>

・日本臨床検査技師会 認定病理技師

榎原有紗技師

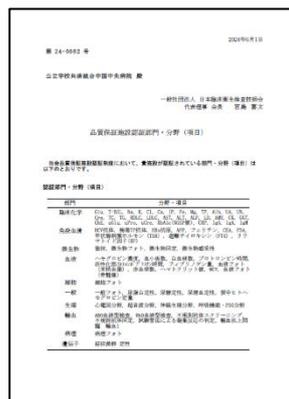


2025 年 4 月 1 日時点での認定資格取得者数

日本臨床病理学会	2級臨床検査士（臨床化学）	1
	2級臨床検査士（免疫血清学）	1
	2級臨床検査士（血液学）	4
	2級臨床検査士（微生物学）	1
	2級臨床検査士（病理学）	2
日本臨床検査技師会	認定病理検査技師	2
	認定一般検査技師	1
日本血液学会	認定血液検査技師	3
認定輸血検査技師制度協議会	認定輸血検査技師	1
日本臨床微生物学会	感染制御認定微生物検査技師	1
認定臨床微生物検査技師制度協議会	認定微生物検査技師	1
日本臨床細胞学会	細胞検査士	4
国際細胞学会	国際細胞検査士	2
日本超音波医学会	超音波検査士（循環器領域）	3
	超音波検査士（消化器領域）	3
	超音波検査士（体表臓器領域）	2
日本脳神経超音波学会	脳神経超音波検査士	1
日本不整脈心電学会	心電図専門士	1
日本血管外科学会、日本脈管学会、 日本静脈学会、日本動脈硬化学会 4学会構成 CVT認定機構	血管診療技師	1

<日本臨床検査技師会 品質保証施設認証を取得致しました>

日本臨床検査技師が実施する精度管理調査において所定の基準成績を維持し、日々の内部精度管理、是正改善状況、職員の教育・充足に対して品質保証施設の基準を満たしていると判断されました。今後も検査の質を維持しながらも、少しずつでも向上していきける検査室を構築していきたいと思っています。



<2024 年度 広島県医師会/臨床検査技師会 精度管理調査 優秀施設賞受賞>

この度、広島県医師会が主催する臨床検査精度管理調査において優秀施設として表彰を受けました。本精度管理調査は広島県の参加施設へ癌細胞や微生物などを撮影した画像、血液検体などを配布し、それを受け取った施設は分析結果を報告します。その検査結果を主催者が集計・評価し、参加施設の技術水準や検査精度を明らかにすることで最も優秀な結果となった施設が表彰されます。臨床検査科では、常に正しいデータを迅速に提供することを心がけており、今回このような賞を受賞できたことは大変光栄に思います。今後も質の高い検査結果を提供できるよう臨床検査科一同取り組んでいきたいと思ひます。

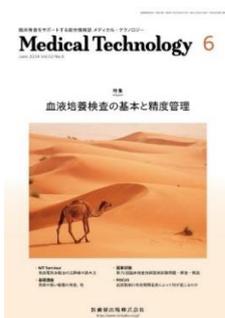


<2024 年度の著書>

- Medical Technology

『臨床検査 Q&A 細胞診検体の溶血処理はどのように行えばよいでしょうか？』

(山田貴之技師)



■臨床検査 Q&A■

細胞診検体の溶血処理はどのように行えばよいでしょうか？

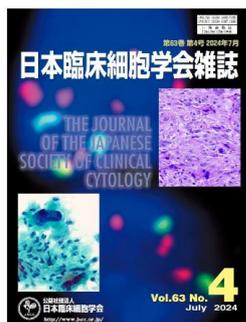
山田貴之・松本慎二・吹田大河・橋原有紗・羽原利幸

<2024 年度の論文掲載>

- 日本臨床細胞学会雑誌

『胸水中に多数の砂粒体を有する腫瘍細胞集塊が認められた悪性中皮腫の 1 例』

(山田貴之技師)



J. Jpn. Soc. Clin. Cytol. 2024; 63(4): 185-190.

症 例

胸水中に多数の砂粒体を有する腫瘍細胞集塊が認められた悪性中皮腫の 1 例

山田 貴之¹⁾ 羽原 利幸^{1,2)} 橋原 有紗¹⁾ 吹田 大河¹⁾
戸田 博子²⁾ 田中 健大¹⁾

公立学校共済組合中国中央病院臨床検査科¹⁾、同 病理診断科²⁾

広島国際大学保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻³⁾、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学（腫瘍病理）⁴⁾

A case of malignant mesothelioma with numerous psammoma bodies in the pleural effusion

• 医学検査（日本臨床検査技師会誌）

『超音波検査で経時的な画像変化を観察できた黄色肉芽腫性胆嚢炎の 1 例』

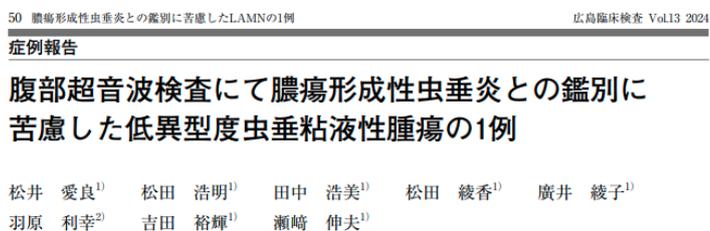
（廣井綾子技師）



A case of xanthogranulomatous cholecystitis in which changes were observed on ultrasonography

• 広島臨床検査（広島県臨床検査技師会誌）

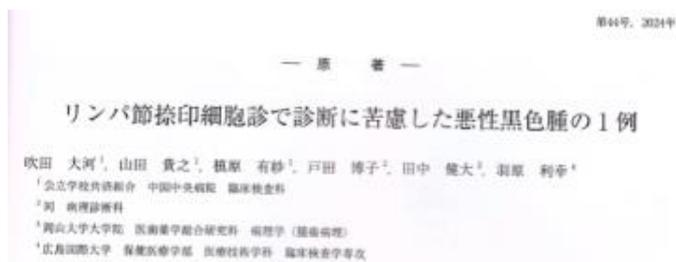
『腹部超音波検査にて膿瘍形成性虫垂炎との鑑別に苦慮した低異型度虫垂粘液性腫瘍の 1 例』（松井愛良技師）



A case of LAMN difficult to differentiate from abscess-forming appendicitis by abdominal ultrasonography

• 広島臨床細胞学会雑誌

『リンパ節捺印細胞診で診断に苦慮した悪性黒色腫の 1 例』（吹田大河技師）



臨床検査科では、日々の臨床検査の中でより正確な検査結果を提供するために、資格取得・論文投稿・学会発表・講師など多くの学術活動を行っています。2025 年度は資格取得 1 名、論文投稿 4 例、学会発表 7 件、講師 8 件行いました。今後も多くの学術活動を通して知識の習得に努め、質の高い医療に貢献できるよう取り組んでいきたいと思ひます。